

# 平成29年度屋外広告士試験

## 実技試験問題

### 広告デザイン

試験時間：14:40～16:40（退出可能時間：16:10～16:30）

次の注意をよく読んでから始めてください。

1. これは「**広告デザイン**」の実技試験問題です。表紙を除き4ページあります。
2. 解答は指定の用紙を使用してください。
3. 解答用紙には、所定欄に受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
4. この問題冊子の余白は、自由に使用して構いません。
5. 下書き用の白紙は、解答用紙に使用しないでください。
6. 試験終了後、解答用紙は必ず提出してください。
7. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰っても構いません。

豊かな自然環境の中に寺院が点在する寺町の地域に、写真に示す山手中央銀行の支店が建てられた。銀行の外観は、和風勾配屋根の日本瓦葺きで、建物を利用した広告物の掲出も極力抑えた自然景観に配慮したものとなっている。

今回、利用者からの要望で写真に示す位置に「山手中央銀行」の自家用の建植広告物を設置することとなった。

なお寺町の地域では、周囲の自然環境と調和しない建植広告物の設置により、周辺の景観に対して悪影響を及ぼす可能性があることから地域協定が締結されている。

地域での配慮事項を含む下記の条件に従って、「山手中央銀行」の自家用の建植広告物をデザインしなさい。

#### 《条件》

- 1) 建植広告物の設置位置は、寺町のメインの国道沿いの写真で示す位置とする。
- 2) 建植広告物は箱形とする。はかまはH=600mm、その上の部分をデザインすること。  
外形寸法は、写真を参考に配慮事項を考慮して任意に設定すること。  
解答用紙には、縮尺、外形寸法を明記すること。
- 3) 画面には、「山手中央銀行」の名称を入れること。  
使用する色数並びに、添付の書体見本を使用するか否かについては任意とする。
- 4) 文字以外に、銀行のイメージをアピールできるロゴマーク、図柄等を入れてもよい。
- 5) 画面以外に型材で外形を取り囲む等、外形デザインを工夫してもよい。
- 6) 解答のスケッチは、デザインの内容により正面と側面（道路側面）を利用する場合は側面を加えた2面として、支持体、型材等含めて描くこと。  
なおスケッチは、道路上に視点を置いたパースとして描いてもよい。この場合、縮尺は不要とする。ただし、外形寸法は明記すること。
- 7) 地域での配慮事項  
背景の自然景観と調和した建植広告物であること。  
山間地の眺望を妨げない建植広告物であること。

《評価の要点》

- 1) 適切な大きさや寸法が設定されているか。
- 2) 日本瓦葺きの建物外観と調和しているか。
- 3) 地域の配慮事項を尊重した自然景観の地にふさわしい表現や色彩となっているか。
- 4) 銀行という施設のイメージを表現できているか。
- 5) 仕上げ（解答用紙）の技術が優れているか。

《解答用紙並びに支給材料》

- 1) B4 ケント紙 1 枚（タテに使用）
- 2) 下書き用の白紙（B4）

## 【設置場所と掲出広告物のボリュームイメージ及び周辺の地域特性】

### 対象の建植広告物の設置位置

- ・設置位置は下の写真のグレーで示した位置とする。
- ・グレーで示した部分はあくまでも参考として、大きさ、形状等は任意である。



### 銀行の建物と設置位置



書体見本

DFP 隸書体

ヒラギノ明朝

ヒラギノ丸ゴ

ヒラギノ角ゴ

山  
手  
中  
央  
銀  
行

山  
手  
中  
央  
銀  
行

山  
手  
中  
央  
銀  
行

山  
手  
中  
央  
銀  
行